

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場取引所 大

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
 コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 武治
 (氏名) 影山 信博

TEL 03-3271-1711

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	2,781	△29.3	△218	—	△177	—	△185	—
23年12月期第2四半期	3,935	△18.8	△295	—	△300	—	△1,441	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △171百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △1,431百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△21.34	—
23年12月期第2四半期	△164.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第2四半期	10,877	3,213	29.5	368.19
23年12月期	11,541	3,383	29.3	387.82

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 3,207百万円 23年12月期 3,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,725	△7.2	△455	—	△445	—	△235	—	△26.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	9,553,011 株	23年12月期	9,553,011 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	841,625 株	23年12月期	839,617 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	8,711,960 株	23年12月期2Q	8,760,620 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響で停滞していた経済活動に緩やかな回復の兆しが見えてきたものの、欧州の金融危機や長期化する円高、株価の低迷など依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、建設業界におきましては東日本大震災後の公共事業に復活期待が高まるものの、民間建築工事での競争激化や労務費上昇リスク等厳しい経済環境が続くなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は27億81百万円（前年同四半期比29.3%減）、営業損失2億18百万円（前年同四半期は2億95百万円の営業損失）、経常損失1億77百万円（前年同四半期は3億円の経常損失）、四半期純損失1億85百万円（前年同四半期は14億41百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①PCカーテンウォール事業

工事量の減少やそれに伴う競争の激化で受注単価の低下が続くなかコストダウンに注力しておりますが、売上高及び利益ともに大幅にダウンしました。

この結果、売上高は19億73百万円（前年同四半期比37.7%減）、セグメント損失は2億21百万円（前年同四半期は79百万円のセグメント損失）となりました。

②アクア事業

学校やスポーツ施設の新設プール工事に加え、既存プールのメンテナンス工事にも力を入れ売上拡大を図っております。

この結果、売上高は2億82百万円（前年同四半期比111.9%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期は23百万円のセグメント損失）となりました。

③システム収納家具事業

価額競争が厳しいなかで粘り強い営業交渉により利益確保を図っております。

この結果、売上高は3億35百万円（前年同四半期比158.2%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期は74百万円のセグメント損失）となりました。

④建設事業

組織のスリム化と効率よい活動で利益確保を目指しておりますが、売上高は伸びず利益も確保できませんでした。

この結果、売上高は2億4百万円（前年同四半期比68.1%減）、セグメント損失は10百万円（前年同四半期は1億19百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は108億77百万円と前連結会計年度末と比較して6億63百万円の減少となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が4億49百万円減少したこと、保険積立金が2億3百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は76億64百万円と前連結会計年度末と比較して4億93百万円の減少となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が3億13百万円減少したことと、社債が2億15百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は32億13百万円と前連結会計年度末と比較して1億70百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の欠損補填による資本剰余金16億97百万円の減少と、利益剰余金が同額の増加と四半期純損失の計上により15億11百万円増加したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して1億8百万円減少して1億71百万円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に未成工事支出金の増加額2億85百万円と売上債権の減少額4億49百万円により1億44百万円の資金増加（前年同四半期は46百万円の資金減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出40百万円と投資有価証券の売却による収入80百万円により45百万円の資金増加（前年同四半期は2億67百万円の資金減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に社債の償還による支出3億66百万円により3億20百万円の資金減少（前年同四半期は1億19百万円の資金増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月9日に公表しました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	454,239	311,630
受取手形・完成工事未収入金等	1,403,687	953,825
未成工事支出金	2,114,096	2,400,086
その他のたな卸資産	97,667	63,704
その他	93,691	76,273
流動資産合計	4,163,382	3,805,521
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,006,469	970,758
土地	1,504,294	1,546,610
その他(純額)	151,605	124,533
有形固定資産合計	2,662,368	2,641,902
無形固定資産	110,179	106,980
投資その他の資産		
投資有価証券	221,065	157,061
投資不動産(純額)	2,590,457	2,570,886
保険積立金	1,057,072	853,799
その他	779,225	784,059
貸倒引当金	△42,437	△42,457
投資その他の資産合計	4,605,382	4,323,351
固定資産合計	7,377,931	7,072,233
資産合計	11,541,314	10,877,755
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,240,855	927,446
短期借入金	2,048,088	2,134,088
1年内償還予定の社債	1,231,400	1,081,100
未成工事受入金	333,264	511,191
工事損失引当金	117,580	129,560
引当金	37,469	30,882
その他	182,821	147,387
流動負債合計	5,191,478	4,961,655
固定負債		
社債	838,900	623,200
長期借入金	1,356,551	1,325,507
役員退職慰労引当金	372,167	353,452
引当金	1,585	1,414
その他	397,190	399,504
固定負債合計	2,966,393	2,703,078
負債合計	8,157,872	7,664,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
資本剰余金	1,697,751	—
利益剰余金	△2,681,059	△1,169,221
自己株式	△153,729	△153,899
株主資本合計	3,405,930	3,219,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,726	△12,395
その他の包括利益累計額合計	△26,726	△12,395
新株予約権	4,237	5,569
純資産合計	3,383,441	3,213,021
負債純資産合計	11,541,314	10,877,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
完成工事高	3,935,823	2,781,477
完成工事原価	3,815,352	2,670,651
完成工事総利益	120,470	110,826
販売費及び一般管理費	415,932	329,204
営業損失(△)	△295,461	△218,378
営業外収益		
受取利息	1,004	329
受取配当金	1,662	2,314
投資有価証券売却益	567	5,550
保険解約返戻金	15	42,738
投資不動産賃貸料	28,979	56,065
鉄屑売却収入	17,842	17,718
その他	23,843	33,860
営業外収益合計	73,915	158,577
営業外費用		
支払利息	37,808	40,125
社債発行費	2,409	—
投資有価証券評価損	3,339	871
不動産賃貸費用	19,304	40,676
その他	16,060	36,230
営業外費用合計	78,922	117,904
経常損失(△)	△300,469	△177,705
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	2,740	—
特別利益合計	2,740	—
特別損失		
固定資産除却損	19,792	1,392
減損損失	677,000	—
災害による損失	29,488	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,842	—
特別損失合計	731,124	1,392
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,028,853	△179,098
法人税、住民税及び事業税	5,086	5,203
法人税等調整額	407,368	1,610
法人税等合計	412,455	6,814
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,441,309	△185,912
四半期純損失(△)	△1,441,309	△185,912

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,441,309	△185,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,468	14,330
その他の包括利益合計	9,468	14,330
四半期包括利益	△1,431,840	△171,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,431,840	△171,581

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,028,853	△179,098
減価償却費	105,656	93,481
減損損失	677,000	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3,339	871
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,842	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,179	△18,714
工事損失引当金の増減額(△は減少)	17,293	11,980
引当金の増減額(△は減少)	△16,302	△6,758
受取利息及び受取配当金	△2,666	△2,643
投資有価証券売却損益(△は益)	△567	△2,647
支払利息	37,808	40,125
売上債権の増減額(△は増加)	87,115	449,861
未成工事支出金の増減額(△は増加)	379,036	△285,990
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	88,173	33,963
保険積立金の増減額(△は増加)	△14,302	203,272
その他の資産の増減額(△は増加)	△61,323	7,566
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,691	△313,409
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△131,164	177,926
その他の負債の増減額(△は減少)	△100,270	△23,798
その他	7,308	3,592
小計	611	189,581
利息及び配当金の受取額	2,936	2,892
利息の支払額	△40,479	△37,894
法人税等の支払額	△10,026	△10,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	△46,957	144,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△147,383	△40,651
投資有価証券の売却による収入	3,053	80,109
投資不動産の取得による支出	△106,175	△7,604
貸付金の回収による収入	5,358	3,997
その他	△22,063	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,210	45,723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	480,000	86,000
長期借入金の返済による支出	△69,050	△31,044
社債の発行による収入	97,590	—
社債の償還による支出	△379,300	△366,000
その他	△9,495	△9,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,745	△320,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	305	△1,925
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△194,116	△132,609
現金及び現金同等物の期首残高	474,092	304,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	279,976	171,630

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,166,017	133,147	129,962	506,696	3,935,823	—	3,935,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	134,673	134,673	△134,673	—
計	3,166,017	133,147	129,962	641,369	4,070,496	△134,673	3,935,823
セグメント損失(△)	△79,052	△23,589	△74,839	△119,125	△296,606	1,144	△295,461

(注)1 セグメント損失(△)の調整額1,144千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,973,385	282,133	335,608	190,350	2,781,477	—	2,781,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	14,235	14,235	△14,235	—
計	1,973,385	282,133	335,608	204,585	2,795,713	△14,235	2,781,477
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△221,606	2,549	8,444	△10,998	△221,610	3,232	△218,378

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額3,232千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社企業グループの経営資源の配分の決定及び業績評価の対象を見直した結果、前第2四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「不動産賃貸事業」及び「環境関連ビジネス」については、第1四半期連結会計期間より「建設事業」に含めて記載する方法に変更しております。これにより、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントについては、変更後の区分に組替えて作成しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。